



教育支援センター「ボイス」

EDUCATION REPORT

# 教育支援センター「ボイス」 活動報告

...

ボイスコーディネーター立山公貴

Contents



① ボイスの活動内容

② ハイスペックパソコンによる活動報告

③ 不登校支援におけるボイスの役割

## **①ボイスの活動内容**

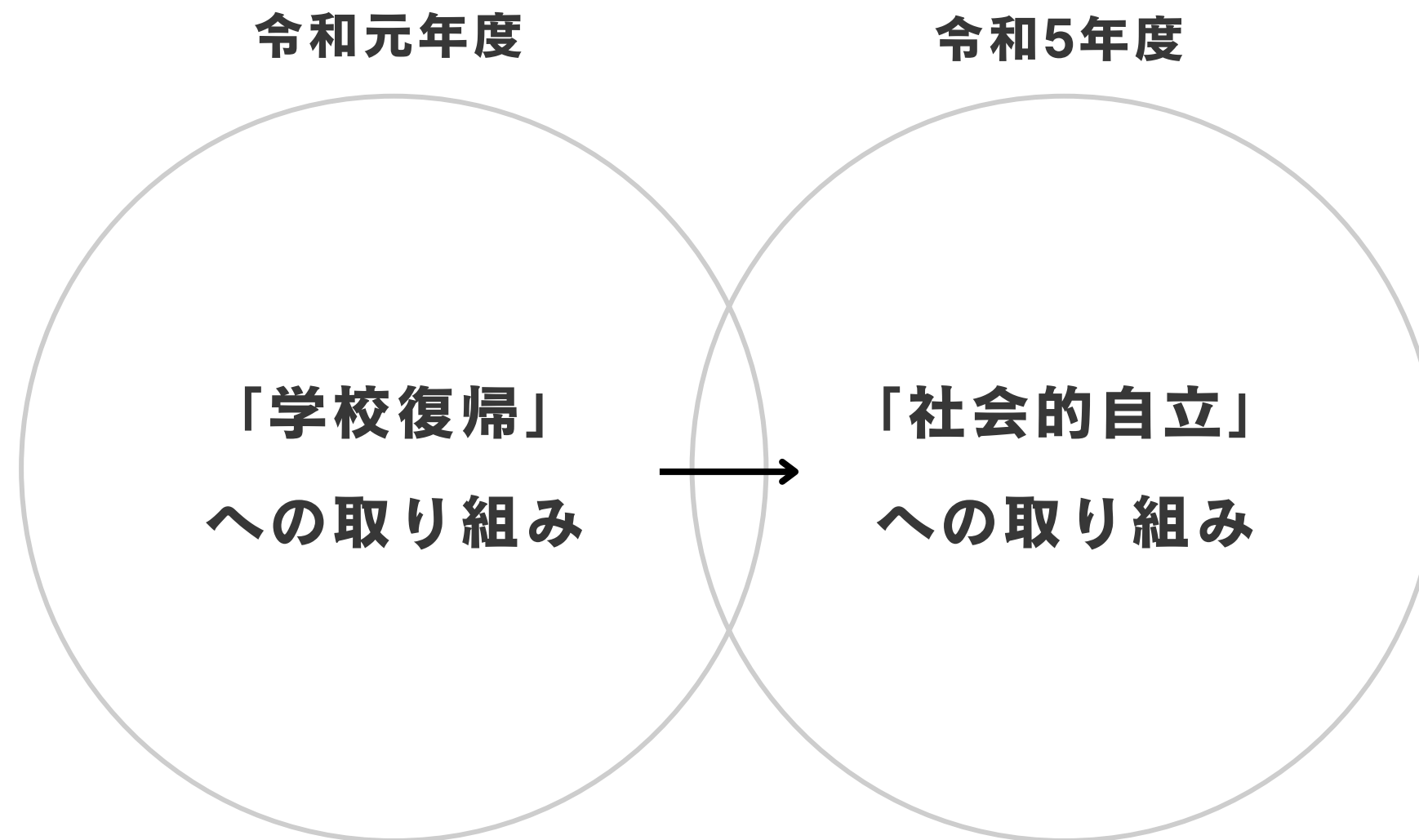
# **大東市の不登校支援を 牽引する場所**

学校と家庭の橋渡しの役割（中間的存在）を担い、子どもたちに対する学習・生活・遊び等の場と機会を提供することで、学校への復帰や将来的な社会的自立をめざし、支援する場所です。



## ①ボイスの活動内容

元々、ふれ愛教室（適応指導教室）『ボイス』として運営  
スタッフは元教員・大学生等、1日2名体制。  
学校以外で学習に取り組める場として存在



令和2年度より、「教育支援センター『ボイス』」へと変更  
・民間フリースクール等の経験のある人材を、コーディネーター・デイリーダーとして配置 → 民間のノウハウを企画運営に反映  
・自己肯定感を高め、人間関係づくりの支援、学習・生活・遊び等の場と機会を提供

ソーシャルスキル  
トレーニング



個別対応型アクティブ  
コミュニケーション

## 様々な活動を行える“学びの場所”として変化



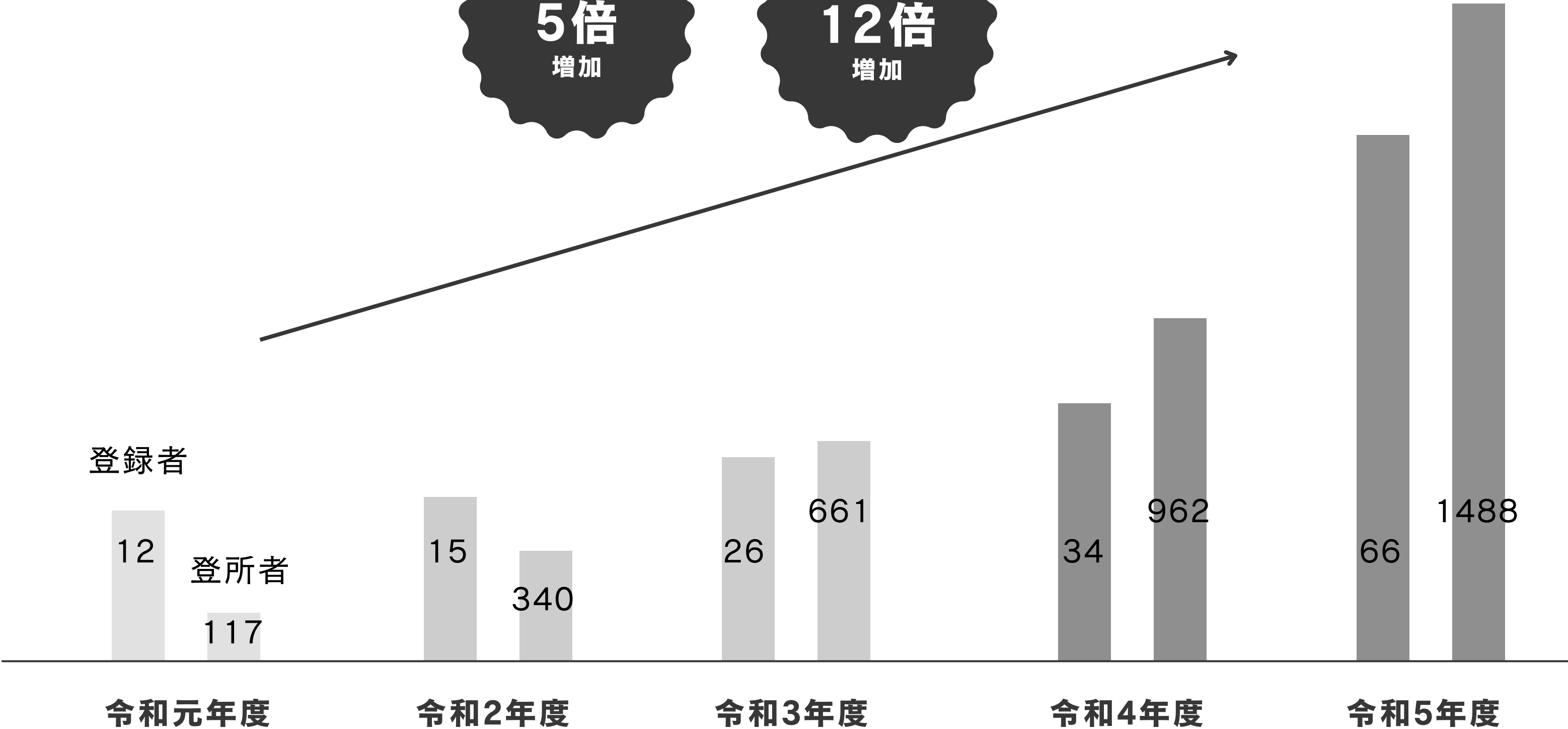
外部講師による特別授業  
校外学習の充実



ボイス利用者数の割合

登録者  
**5倍**  
増加

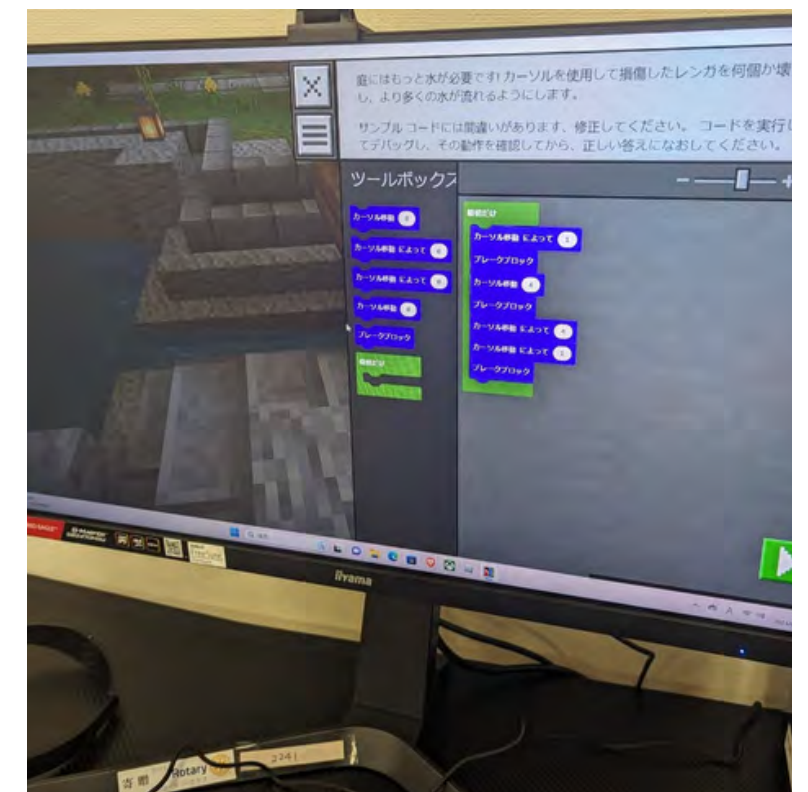
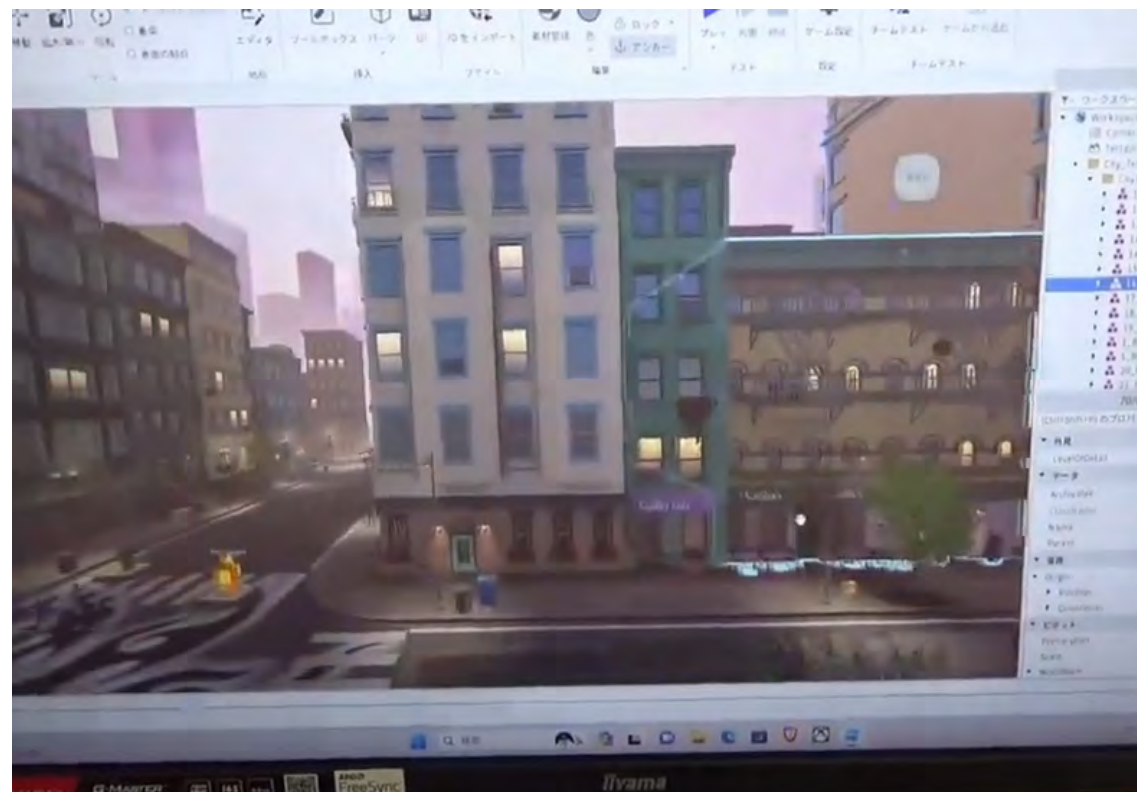
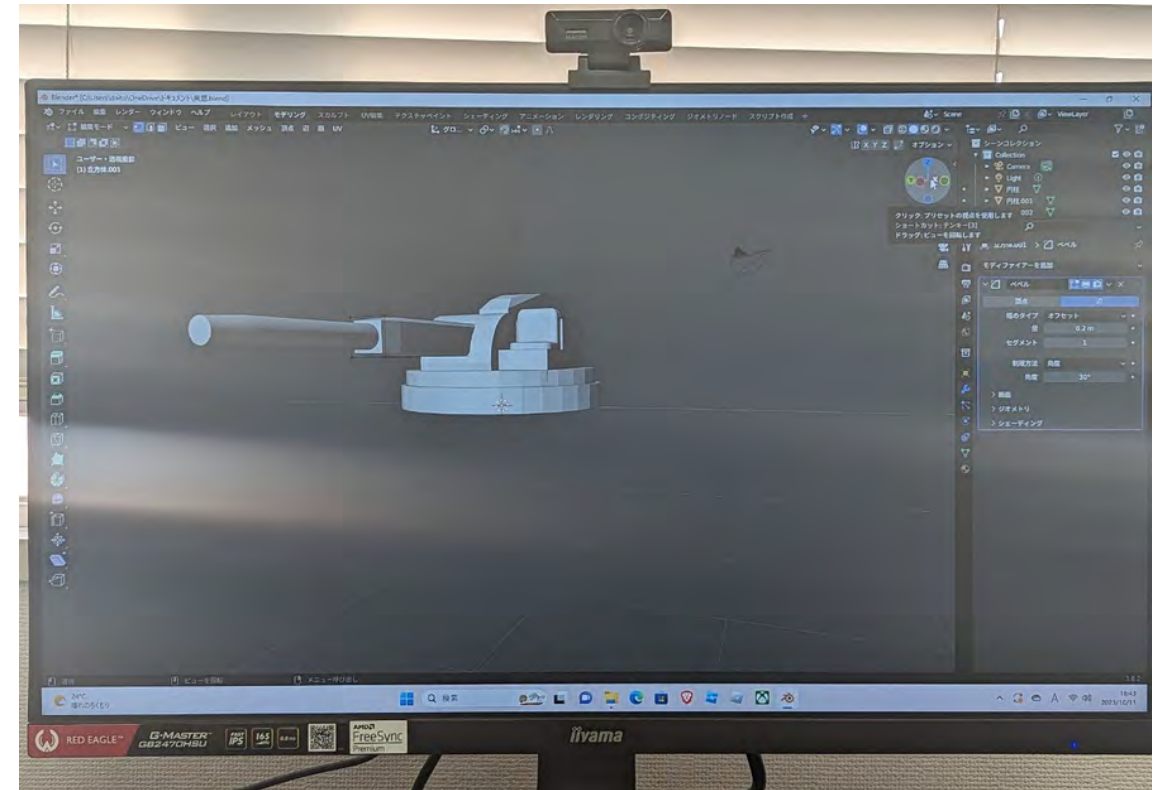
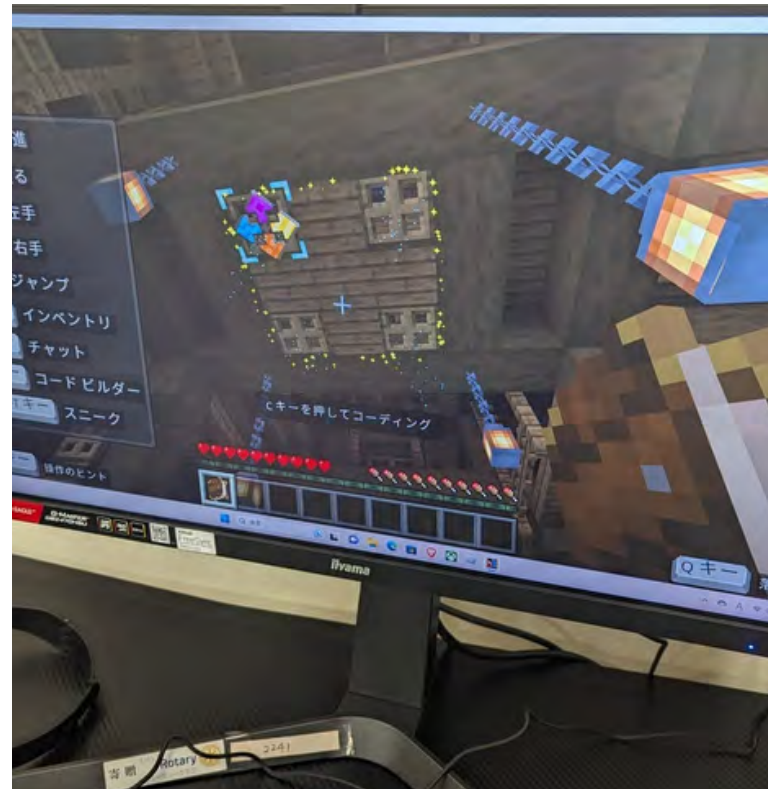
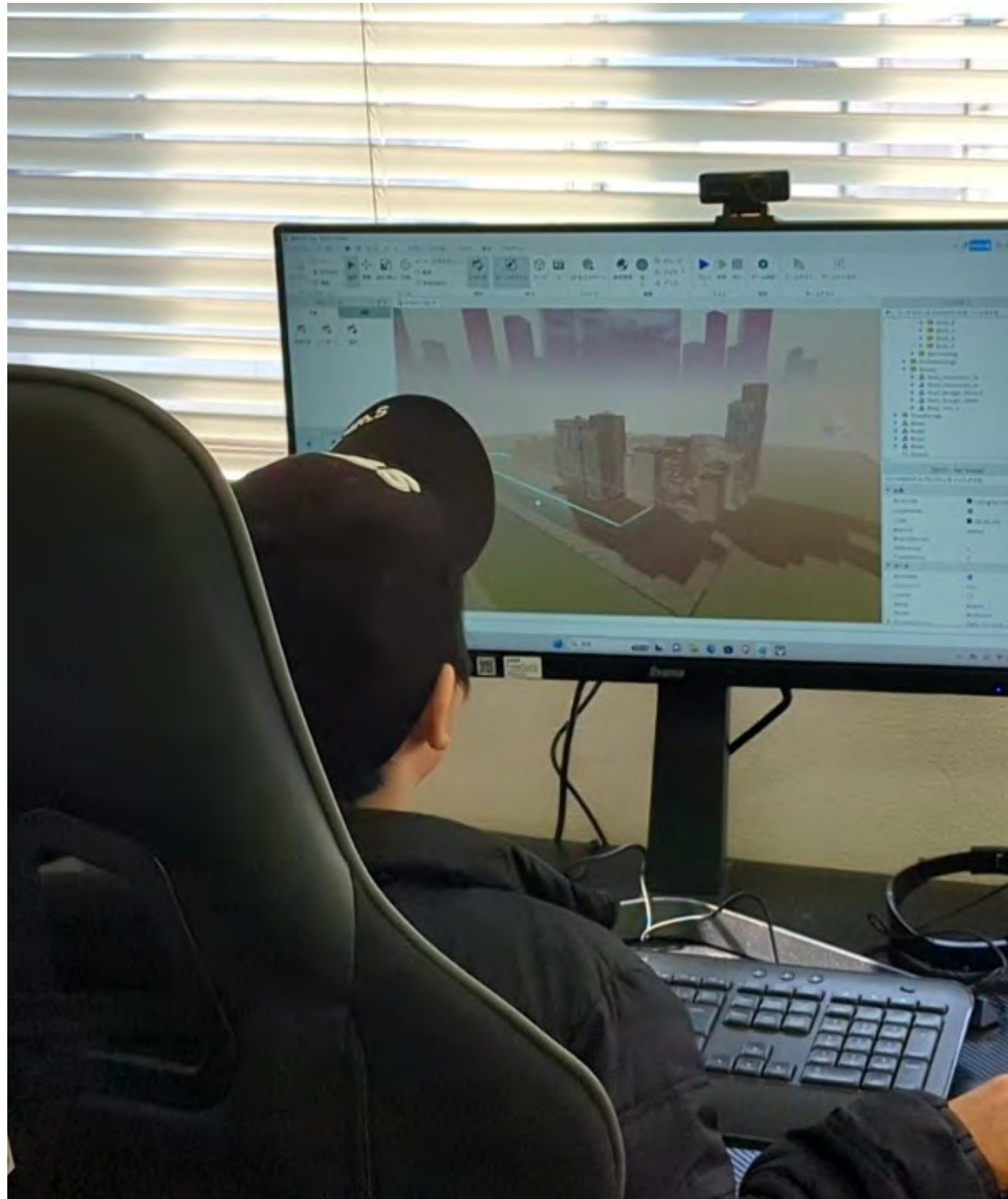
登所者数  
**12倍**  
増加



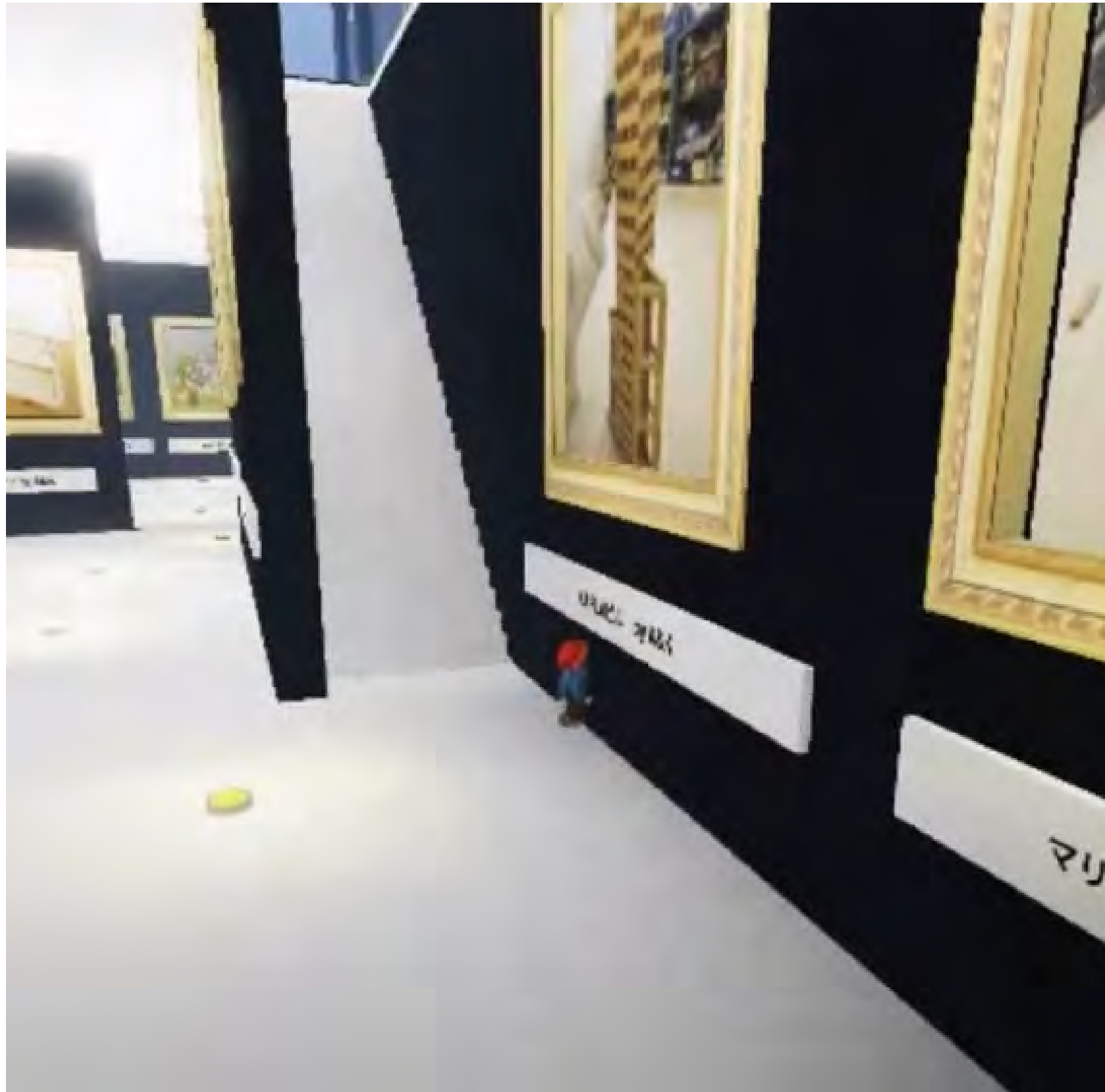
(令和元年度～令和5年度のデータ)











### ③不登校支援におけるボイスの役割

#### 「ボイス」が取り組む新しい学び



#### 先端IT×学習

##### ハイスペックPCによる創作活動・学習環境

3次元コンピューターグラフィックスやデジタルイラスト、デジタル映像の制作など高負荷のかかる作業や新しいデジタル技術を子どもたちが実際に触り、駆使することで新しい価値を生み出します。



#### 共有×個別最適化

##### 情報の共有と個別に対応した支援

民間のノウハウと行政の幅広いサポートを合わせた支援により、生徒児童1人1人に合わせた形の学習環境、生活環境を支援していきます。